

# 令和6年度山口県芸術文化振興奨励賞

## 略歴・業績

- 2004年 国立音楽大学応用演奏学科卒業  
2011年 自身のリーダーアルバム“Piano Mystique”を配信リリース  
(作曲、編曲、演奏、プロデュースなどを担当)  
2014年 テレビ朝日開局55周年記念音楽祭 なんでも!クラシック“プログレ  
on クラシック”にて編曲・オーケストレーションを担当  
(演奏:東京フィルハーモニー交響楽団、指揮:藤岡幸夫)  
2016年 碓井俊樹(ピアニスト)CD“Progressive Piano Box”の編曲を担当  
(CDジャーナル2016年2月号“今月の推薦盤”選出)  
// 野口英世記念ばんだい高原国際音楽祭にて編曲を担当  
// 雪村いづみディナーショーにてピアノ演奏を担当  
2017年 ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ“ニューイヤージャパンツ  
ア”にて編曲・オーケストレーションを担当  
(指揮:ロイド・バトラー、ヴォーカル:綾戸智恵)  
// NTTデータ東北ウィンターコンサート2017“綾戸智恵とN響メンバー  
によるスーパーセッション!”にて編曲を担当  
// フジクリスマスコンサートVol.15“石井竜也と兵庫県芸術文化セン  
ター管弦楽団による一夜限りのクリスマススペシャルステージ”にて  
ピアノとチェレスタ演奏を担当  
2019年 ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ“ニューイヤージャパンツ  
ア”にて編曲・オーケストレーションを担当  
(指揮:ロイド・バトラー、ピアノ:桑原あい)  
2020年 防衛省海上自衛隊小月教育航空群第201教育航空隊プロモーション  
ビデオBGMの編曲を担当  
2022年 野口英世記念ふくしま国際音楽祭にて編曲を担当  
2024年 KRY山口放送「熱血テレビサタデー」テーマ曲“DICE”(大瀬戸千嶋  
作品)の編曲を担当  
現 在 一般社団法人日本音楽著作権協会会員



©iDS Studio/Seiha Yamaguchi

音楽／作編曲・器楽

# 田中 祐樹

Tanaka Yuki

宇部市

## 今後の抱負

この度は荣誉ある山口県芸術文化振興奨励賞を賜り、誠に光栄に存じます。

音楽制作や演奏会などは関連する様々な業種の方々が携わって実現するチームワークであり、今日の私があるのは、これまで一緒に仕事をしてきた皆様のおかげであり深く感謝しております。また、私の音楽家としての仕事に理解を示し温かく見守ってくれている家族やご縁のある方々にも大変感謝しております。

これまで、幸いにも様々なジャンルの音楽やジャンルを跨いだ音楽の編曲・制作や演奏に携わってきましたが、音楽の分野も大変幅広く多様なものであります。過去にはプログレッシブロック&オーケストラやジャズ&オーケストラなどといった編曲も行ってきましたが、今後自分が対応できるジャンルやそれらの組み合わせ、また技術的手法などをさらに広げるべくより一層の研鑽に努め、先々の音楽活動に生かしてまいりたいと存じます。



# 令和6年度山口県芸術文化振興奨励賞

## 略歴・業績

- 1996年 能楽観世流大江家に内弟子入門する
- 1998年 大江定期能にて能「岩船」で初めてシテを演じる
- 2004年 八年の内弟子修行を終え、独立を許される
- 2005年 下関市民会館にて独立披露能を行い、大曲「石橋」を抜く
- 2006～2009年 カナダ・アメリカ・イギリスでの能楽公演に参加
- 2008～2017年 大人数で能の謡を謡う「能楽大連吟」企画・出演
- 2011年 大江定期別会にて大曲「道成寺」を抜く
- 2015年 京都観世例会にて「熊坂」を勤める
- 2017～2022年 能楽通訳ガイド企画「discover noh in Kyoto」に参加
- 2021年 下関市芸術文化振興奨励賞を受賞
- 2023年 能楽アートキャラバン下関公演にて「屋島 弓流」を抜く  
重要無形文化財「能楽」の保持者として総合認定を受ける



演劇／能楽

## 宮本 茂樹

Miyamoto Shigeki

京都府(下関市出身)

## 今後の抱負

この度は山口県芸術文化振興奨励賞を賜りまして、誠にありがとうございます。

能楽の世界に入門して今に至るまで二十八年間、何もわからぬところから始まり、時には真直ぐに、時には迷いながらも修行を続け、多くの方々に支えていただきました。これまで応援いただきました皆様、この場を借りて御礼申し上げます。本当に有難うございました。

この度の受賞をきっかけにこれまでを振り返ると、発声や摺足など型の作り、舞台上での心構え、楽屋内または日常生活における立居振舞など、多くの気付きと反省を与えていただきました。

今後の抱負としては、今までと変わらず舞台を一生懸命に真剣に勤めること。年齢を重ねることで起こる様々な肉体的、精神的変化を受け入れつつも、それが良き糧となるよう芸道を精進していきたいと思っております。

急速な時代の変化の中、守るべきものは守り変えるところは変える在り方を模索しながら、挑戦もしていきたいと思っております。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



「能 船橋(大江定期能)」 2019年